

投げたときに表と裏の出る確率がそれぞれ $\frac{1}{2}$ のコインがある. A, B, C の 3 文字を BCA のように 1 個ずつすべて並べて得られる文字列に対して, コインを投げて次の操作を行う.

- 表が出たら文字列の左から 1 文字目と 2 文字目を入れかえる.
- 裏が出たら文字列の左から 2 文字目と 3 文字目を入れかえる.

例えば, 文字列が BAC であるときに, 2 回続けてコインを投げて表, 裏の順に出たとすると, 文字列は BAC から ABC を経て ACB となる.

最初の文字列は ABC であるとする. コインを n 回続けて投げたあとの文字列が ABC である確率を p_n とし, BCA である確率を q_n とする.

- (1) k を正の整数とするととき, $p_{2k} - q_{2k}$ を求めよ.
 (2) n を正の整数とするととき, p_n を求めよ.

(25 大阪大 理系 5)

【答】

$$(1) p_{2k} - q_{2k} = \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

$$(2) p_n = \begin{cases} \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{2}\right)^n & (n \text{ が偶数のとき}) \\ 0 & (n \text{ が奇数のとき}) \end{cases}$$

【解答】

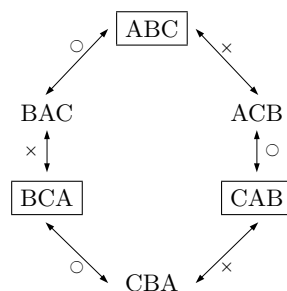
- (1) A, B, C の 3 文字の並び方は $3! = 6$ 通りあり, コインを投げて表が出ることを \circ , 裏が出ることを \times で表すと文字列の推移は右図となる.

最初の文字列が ABC であるから,

偶数回目の文字列は ABC, BCA, CAB のいずれか,
 奇数回目の文字列は BAC, CBA, ACB のいずれか

である.

n 回続けて投げたあとの文字列が ABC である確率が p_n , BCA である確率が q_n であるから, CAB である確率を r_n とおくと



$$\begin{cases} p_{2(k+1)} = p_{2k} \cdot \left(\frac{1}{4} + \frac{1}{4}\right) + q_{2k} \cdot \frac{1}{4} + r_{2k} \cdot \frac{1}{4} \\ q_{2(k+1)} = p_{2k} \cdot \frac{1}{4} + q_{2k} \cdot \left(\frac{1}{4} + \frac{1}{4}\right) + r_{2k} \cdot \frac{1}{4} \\ r_{2(k+1)} = p_{2k} \cdot \frac{1}{4} + q_{2k} \cdot \frac{1}{4} + r_{2k} \cdot \left(\frac{1}{4} + \frac{1}{4}\right) \end{cases}$$

$$\therefore \begin{cases} p_{2(k+1)} = \frac{1}{2} p_{2k} + \frac{1}{4} q_{2k} + \frac{1}{4} r_{2k} & \cdots \cdots \textcircled{1} \\ q_{2(k+1)} = \frac{1}{4} p_{2k} + \frac{1}{2} q_{2k} + \frac{1}{4} r_{2k} & \cdots \cdots \textcircled{2} \\ r_{2(k+1)} = \frac{1}{4} p_{2k} + \frac{1}{4} q_{2k} + \frac{1}{2} r_{2k} & \cdots \cdots \textcircled{3} \end{cases}$$

が成り立つ. ①, ② の辺々を引くと

$$p_{2(k+1)} - q_{2(k+1)} = \frac{1}{4} (p_{2k} - q_{2k})$$

が成り立つ。最初の文字列は ABC であるから

$$p_0 = 1, q_0 = 0$$

であり

$$p_{2k} - q_{2k} = (p_0 - q_0) \left(\frac{1}{4}\right)^k = (1 - 0) \left(\frac{1}{4}\right)^k = \left(\frac{1}{4}\right)^k \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

(2) $p_{2k} + q_{2k} + r_{2k} = 1$ より, ① は

$$p_{2(k+1)} = \frac{1}{4}p_{2k} + \frac{1}{4}(p_{2k} + q_{2k} + r_{2k})$$

$$\therefore p_{2(k+1)} = \frac{1}{4}p_{2k} + \frac{1}{4}$$

となり

$$p_{2(k+1)} - \frac{1}{3} = \frac{1}{4} \left(p_{2k} - \frac{1}{3}\right)$$

と変形される。

$$p_{2k} - \frac{1}{3} = \left(1 - \frac{1}{3}\right) \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

$$\therefore p_{2k} = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

である。

n が奇数のとき $p_n = 0$ である。

n が偶数のとき $n = 2k$ であり, ③ を n で表すと

$$p_n = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^{\frac{n}{2}} = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

となる。

よって

$$p_n = \begin{cases} \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{2}\right)^n & (n \text{ が偶数のとき}) \\ 0 & (n \text{ が奇数のとき}) \end{cases} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (1) では「 k は正の整数」となっているが, k は 0 以上の整数で成り立ち, (2) では「 n は正の整数」となっているが, n は 0 以上の整数で成り立つ。
- (2) では (1) の結果を使わずに p_n を求めた。次のように考えることもできる。

①, ② の辺々を加えると

$$\begin{aligned} p_{2(k+1)} + q_{2(k+1)} &= \frac{1}{4}p_{2k} + \frac{1}{4}q_{2k} + \frac{1}{2}(p_{2k} + q_{2k} + r_{2k}) \\ &= \frac{1}{4}(p_{2k} + q_{2k}) + \frac{1}{2} \end{aligned}$$

であり, これは

$$\therefore p_{2(k+1)} + q_{2(k+1)} - \frac{2}{3} = \frac{1}{4} \left(p_{2k} + q_{2k} - \frac{2}{3}\right)$$

と変形される。最初の文字列は ABC であるから

$$p_0 = 1, q_0 = 0$$

であり

$$p_{2k} + q_{2k} - \frac{2}{3} = \left(p_0 - q_0 - \frac{2}{3}\right) \left(\frac{1}{4}\right)^k = \left(1 - 0 - \frac{2}{3}\right) \left(\frac{1}{4}\right)^k = \frac{1}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

である。(1) の結果と連立して

$$\begin{cases} p_{2k} + q_{2k} = \frac{2}{3} + \frac{1}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k \\ p_{2k} - q_{2k} = \left(\frac{1}{4}\right)^k \end{cases}$$

辺々加えて

$$2p_{2k} = \frac{2}{3} + \frac{4}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

$$\therefore p_{2k} = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

を得る。以下，【解答】と同じ。

- ③の利用も考える。

①，③の辺々を引くと

$$p_{2(k+1)} - r_{2(k+1)} = \frac{1}{4} (p_{2k} - r_{2k})$$

であり， $p_0 = 1$ ， $q_0 = 0$ であるから

$$p_{2k} - r_{2k} = \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

を得る。(1)の結果と連立して

$$\begin{cases} p_{2k} - q_{2k} = \left(\frac{1}{4}\right)^k \\ p_{2k} - r_{2k} = \left(\frac{1}{4}\right)^k \end{cases}$$

辺々加えると

$$2p_{2k} - q_{2k} - r_{2k} = 2 \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

$$3p_{2k} - (p_{2k} + q_{2k} + r_{2k}) = 2 \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

$p_{2k} + q_{2k} + r_{2k} = 1$ であるから

$$p_{2k} = \frac{1}{3} + \frac{2}{3} \left(\frac{1}{4}\right)^k$$

を得る。以下，【解答】と同じ。